

## ごあいさつ

クリスマスにあたって、この一年のご厚情に感謝しつつ、喜びのご挨拶を申し上げます。そして2009年が皆さまにとりまして、希望に満ちた一年になりますように、心からお祈り申し上げます。

社会福祉にとって厳しい環境下で、大きな不安をかかえつつ、小羊学園はこの一年、三方原スクエアの建設に取り組んできました。法人内外から多くの方たちのご心配くださり、例年よりも多くの献金が与えられたことは、わたしたちにとって大きな励みとなりました。今後も借入金の返済はしばらく続いていくこととなりますが、念願の新しい建物を与えられ、これまでとは一味も二味も違った新しい歩みを踏み出したことは、何よりも大きな希望です。

つばさ静岡は開設から3周年を迎え、支援センターわかぎは開園30周年を記念して、利用者の皆さんとご家族、支援者の方々、旧職員の皆さまとともにお祝いの会をすることができました。また、浜松市浜北区にある通所施設オリーブの樹は増築をすることができました。それぞれの地域にあって、小羊学園の創立の心を継承しつつ、これからも誠実な実践を続けて生きたいと思えます。どうぞ皆さまにも小羊学園の一つひとつの働きのためにお祈りください。

また、夏には小羊学園を支える会の総会が開催され、山浦明子先生が亡くなられた後、不在となっております支える会の代表に、遠州教会の小林眞牧師がご就任くださいました。今後は、毎年会合を開いていただき、ご支援くださる皆さまのご意見もお聞きし、市民の皆さまに支えられる社会福祉活動の展開をこころざしたいと思えます。

小羊学園の課題は、施設運営に関するだけでなく、知的ハンディのある人たちとご家族の生活にふれる中で地域社会の中にいくつもの課題があることを知らされます。もちろん、小羊学園だけで担えることではありませんが、行政、関係諸施設、団体、また一般市民の方たちと連携して、少しずつ取り組んでいきたいと思えます。

来たる年も変わりませず、皆様のご指導、ご協力を心からお願い申し上げます。

2008年12月

### 社会福祉法人小羊学園

理事長、	三方原スクエア児童部・成人部施設長	稲松 義人
理 事、	三方原スクエア建築担当・事務長	山崎 陽司
理 事、	つばさ静岡施設長	山倉 慎二
理 事、	つばさ静岡事務長	羽山 純
支援センターわかぎ・オリーブの樹施設長		松原 康好
支援センターわかぎ事務長		小原 英世
マルカート・ドルチェ施設長		古橋 誠
小羊デイケアホーム施設長		出水 巖生
地域療育支援センターアグネス所長		雨宮 寛
小羊学園法人事務センター長		池谷 慎人
他	法人施設職員一同	

昨年から、以前にお送りしていたクリスマスカード（絵はがき）に代えて、つのはぐえの紙面でご挨拶をさせていただきますことにしました。クリスマスカードを楽しみにして下さっていた皆さまにはおゆるしく下さい。裏面に、今年もアドベントカレンダーを作ってみました。わたしたちとともに、クリスマスをお祝いくだされば幸いです。

# クリスマスおめでとうございます

今年もクリスマスを迎えます。一年前には悲壮な思いで決断した三方原スクエアの建設でした。「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。(イザヤ書 43 章 19 節)」の聖書のことばを繰り返し読み返し、自らを励ましてきました。開園以来、小羊学園には、いつも新しい歩みが与えられてきたことを思い起こし、あらためて心から感謝しています。



## アドベントカレンダー

教会暦では、クリスマスを待つ季節をアドベントといいます。毎日、道をたどって、一軒ずつ家の明かりを灯してください。クリスマス(25日)に、私たちの心に希望の明かりが灯ります。